



太陽と海を楽しむためにバタフライ屋根で視界を広げた家



強い海風の影響を回避する陸側（北側）に、プライベートガーデンとアウトドアリビング、玄関が設けられている。バタフライ屋根の下に大きな窓が設置され、ここからリビング・ダイニングの先に広がる海を望むことができる。



バタフライ屋根は集成材の梁・柱とツーバイフォー材の組み合わせでつくられている。※カナダならではの構造方法。

バンクーバーから北上し、ジョージア海峡に面する街口パーツ・クリークに建つこの住宅は、リタイアした夫妻が毎日を心地よく過ごせるように、海辺という立地を生かした設計が施されました。

日常の利便性を重視してワンフロアに生活機能を集約させた平屋建てが計画され、海の眺望が楽しめるように大開口の窓が配置されました。夫妻の憩い空間であるリビング・ダイニングの北・南の両側には部屋の延長空間として使える大きなテラスが設けられ、内部天井から続く長い庇には明るさを確保するトップライトが組み込まれています。

各空間は、趣味のコレクションの品々と調和するインテリアデザインが施されています。外壁には、強い海風や日射を考慮し石張りや窯業系サイディングが用いられました。

ツーバイフォーによって適えることができた耐震構造は、さまざまな高さの壁を有する複雑なデザインにおいても有効でした。



屋根（天井）を支える梁は明るいグレーに塗装されているので、開放感を損なうことなく、視覚的に空間を分ける役割も果たしている。暖炉が埋め込まれた壁は二重構造で厚み部分は煙突の配管や飾り棚のスペースに利用されている。



洗面室、トイレが一体となったバスルームは主寝室と直結している。



キッチンの南面には景色を取り込む大きな窓と、風を取り込む縦滑り出し窓が設置されている。

海側（南側）にも屋根は大きく張り出している。ジョージア海峡を一望できるテラスがつくられ、ここから海岸へと下りることができる。



所在地：カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ロバーツ・クリーク

規模：平屋建て 延床面積325m²（北側のガレージ棟を含む）

設計：アラン・ピーターズ

竣工：2018年

Photo & Report : [Peter Powles](#)

【無断転載禁止】

本ページ掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。